東雲

熊谷東中学校だより　第６号
平成２９年　９月　２７日

学校教育目標
優しさのある生徒
志高く　自ら学び考える生徒
たくましく生きる生徒

大人が手本となって
3減運動
〇テレビ視聴時間
〇ゲーム時間
〇携帯電話時間

笑顔　志　本気を合言葉に生徒が自分と自分の学校に誇りを持って卒業することができる学校をつくる

熊谷市立熊谷東中学校長　原口　政明

問題が起きにくい学校を目指して

「Over　The　Top」まさに空前絶後の超絶怒涛の体育祭となりました。私の教員生活の中で、最高の体育祭となりました。感動しました。各学級のまとまりも一段と強まりました。たとえば、３年３組は、学年種目ローハイドを何回も繰り返して練習し、当日もしっかり結果を出していました。学級の絆、すばらしいです。各学級とも、次の東雲祭の合唱コンクールに向けて取組みを開始しました。ご期待ください。

さて、私は本校着任以来、学校の外回りから環境整備を進めてきました。たとえば、校舎の外周は９００ｍありますが、草のない状況を保ちたいと考えています。フェンスからはみ出す枝の伐採、からまるつる植物の刈り取り、東側グラウンドの草の除去、校地中の除草、プール下の整理など、６か月過ぎてもまだまだやり残しが目立ちます。今は、外回りは程々にして、校舎内の空き教室・準備室の掃除に取り組んでいます。

生徒からは、「校長先生はいつも作業着で、掃除が好きなんですか。」と、よく聞かれます。私は掃除は好きではなく、仕事ですから、徹底してやっているだけです。学校中で、「無言膝つき清掃」に取り組んでいることも、力を入れている理由のひとつです。

私は、きれいな学校にすることが、学校の信頼を回復するための近道であると考えています。汚い学校によい学校はありません。きれいな学校が必ずしもよい学校とは限りませんが、学校の信頼を回復するための必要条件のひとつがきれいな学校であると考えています。

草むしりをしながら「芽をつむ」という言葉が浮かびます。おそらく、「芽をつむ」とは野良仕事から自然発生した言葉なのでしょう。学校をきれいにしておくのは「問題が起きにくい学校」の風土を作るためです。草の生え放題の校庭に、小さなゴミくずが飛んできても気づきませんが、野球部のように掃き清められたグランドに小さなゴミくずが落ちていればすぐに気づきます。学校を隅々まできれいに磨き上げることで、学校の隅々の変化に気づくことができるようになります。環境整備を進めることが、問題の「芽をつむ」ことにつながると確信しています。

教職員が、掃き清められたすがすがしい学校を創造して、その土俵の上で、笑顔、チーム東、本気で仕事に打ち込んでいくことをめざしています。そして、子供たちのわずかな変化をも見逃さない澄んだ目を持って欲しいと願っています。学校のどこかに汚れはないか、わずかな変化はないか、大切な子供たちのかすかな SOS は見当たらないかと、気働きのできる教師集団を作っていこうと取り組んでいます。

本校の「無言膝つき清掃」で、生徒と共に、学校をきれいな、やすらぎのある場にし、「問題が起きにくい学校」を創造していきます。



綺麗に整理・整頓されている３年生の下駄箱

8／31　9／1　夏休み一研究作品展より




技術科の作品から




・理科科学展の作品




家庭科の作品から

夏休みの一研究の発表の場として、８／３１　９／１の２日間フリー参観見学会を設定しました。被服室では、家庭科の作品の展示。木工室ではね技術の作品。第二理科室では、理科の作品の展示をしました。どの作品もすばらしいものでした。

9／1 避難訓練より



防災の日の９／１、2 回目の避難訓練を実施しました。
時間は前回よりも短い時間で集合できましたが、おしゃべりが多少あったのが残念でした。

9／16　第57回体育祭より



開会式　　三人四脚リレー　　部活リレー



大玉運びリレー　　台風の目　　ローハイド　　おおなわとび

台風 18 号の進路で、開催が心配された第 57 回熊谷東中学校体育祭は 16 日(土)に無事実施できました。～ Over the Top　空前絶後の超絶怒涛の体育祭～というスローガンのもと、生徒一人一人が真剣に取り組み大成功のもと、終了することができました。次は新人戦、合唱コンクールに向けてがんばろう!

	1年	2年	3年
優勝	2組	5組	2組
2位	4組	3組	5組
3位	3・5組	4組	4組

